

特許検索事例研究会 ～拒絶理由に学ぶ特許検索式の立案ノウハウ～

「演習問題 1 4：厨房装置」の事例解説

1. 演習問題 1 4 の内容

演習問題 1 4 の題材公報は「[特開 2 0 1 9 - 0 6 3 6 2 1](#)：厨房装置」です。この特許出願の請求項 1 の新規性を確認するための検索式を検討してください。

【発明の名称】厨房装置

【要約】【課題】調理者の種々の調理作業による身体負担を極力少なくでき、かつ調理作業を効率的に実施できる厨房装置を提供する。

【解決手段】厨房装置 1 は、天面側にシンク領域 2 0 と、略平坦な面に形成された天面作業領域 3 0 と、加熱調理領域 3 2 とを有している。シンク領域 2 0 には、シンク本体部 2 1 と、シンク本体部 2 1 の底面よりも高さが高い台面 2 1 a が形成されている。シンク本体部 2 1、台面 2 1 a、天面作業領域 3 0、加熱調理領域 3 2 が、この順で横方向に並び、加熱調理領域 3 2 の加熱調理器載置面が、天面作業領域 3 0 の上面よりも低い位置とされる。

【請求項 1】

天面側にシンク領域と、略平坦な面に形成された天面作業領域とを有した厨房装置であって、

前記シンク領域には、シンク本体部と、該シンク本体部の底面よりも高さが高い台面が形成されており、

前記天面作業領域の隣接領域であって、前記シンク領域とは異なる領域で且つ前記台面を中程にして前記シンク本体部とは反対側に、加熱調理領域をさらに有し、

前記シンク本体部、前記台面、前記天面作業領域、前記加熱調理領域が、この順で横方向に並び、

前記加熱調理領域の加熱調理器載置面が、前記天面作業領域の上面よりも低い位置とされることを特徴とする厨房装置。

そして、拒絶理由の中で、【請求項 1】の新規性を否定するとして示された引用文献が 1 件ありました。

引用文献：[実開平 0 6 - 0 4 1 5 5 1](#)

<拒絶理由通知書に記載された審査官のコメント>

引用文献（特に、【0 0 0 5】、【0 0 0 9】－【0 0 1 8】、【図 1】等参照）には、シンク領域に、シンク本体部と、該シンク本体部の底面よりも高さが高いワークトップ面（「台面」）が形成され、天面作業領域の隣接領域であって、前記シンク領域とは異なる領域で且つ前記台面を中程にして前記シンク本体部とは反対側に、ガス器具載置部（「加熱調理領域」）をさらに有し、前記シンク本体部、前記ワークトップ面、前記天面

作業領域、前記ガス器具載置部が、この順で横方向に並び、前記ガス器具載置部の加熱調理器載置面が、前記天面作業領域の上面よりも低い位置とされ、前記ワークトップ面が、前記シンク領域の手前、奥側、加熱調理領域側のシンク内壁面に接続して形成される流し台が記載されている。

そうすると、引用文献に記載された発明と本願の発明は、発明を構成するための事項に差異がない。

皆様は、この引用文献を抽出することができたでしょうか？ また、どのような検索戦略を立案すればヒットさせられるでしょうか？

2. 発明の認定および題材公報と引用文献との対比

まずは、調査対象とした発明の認定作業から行いましょう。

新型コロナウイルスの影響で、外出の自粛や在宅ワークが普及したことで、外食の機会は少なくなり、料理のためキッチンで過ごす時間も増えているのではないのでしょうか。台所設備も、水栓と流しを中心とする「流し台」の時代から、調理機器までも一体化した「システムキッチン」が主流になっています。さらに、最近のシステムキッチンは、「対面型」とか「アイランド型」といった、家族が集う場所として、多様化したニーズに答えようとしています。

今回は、そんなシステムキッチンに関するテーマを選定しました。システムキッチンのシンク部分と、天板作業部分と、さらに、調理器具の部分とのレイアウト構造に関する発明を題材としました。

発明の内容を確認すると、シンク部分と、シンク底面より高い位置に形成された台面と、ワークトップと、加熱調理器の部分とが、この順番で横並びになっており、さらに、加熱調理器の載置面がワークトップ上面より低い位置になっていることを特徴としています。

ここで、題材公報と引用文献に付与されている特許分類やキーワード表現の、一致点、相違点について確認してみましょう。図1は題材公報と引用文献の対比表です。

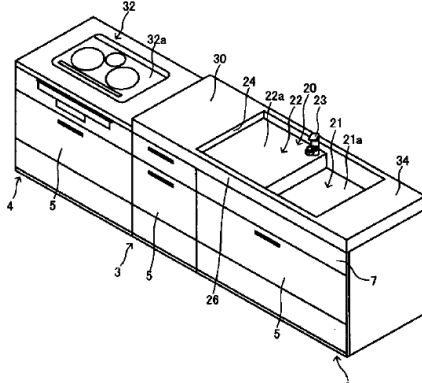
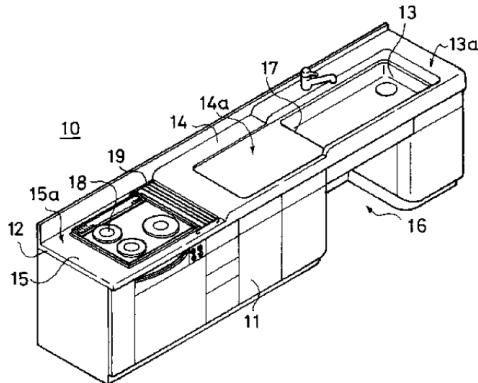
対比公報	題材公報	引用文献
	特開2019-063621	実開平06-041551
出願日(優先日)	2017/7/6	1992/11/20
公報発行日	2019/4/25	1994/6/3
出願人	パナソニックIPマネジメント株式会社	サンウェーブ工業株式会社
発明の名称	厨房装置	流し台
図面		
F I (公報記載)	A47B77/00[台所用キャビネット]	
	A47B77/02[・ 一般的レイアウト]	
	A47B96/18D[厨房の作業用天板]	A47B77/06[流し槽を組み込むためもの] A47B77/08A[ガス加熱調理器組み込み]
	A47B96/18H	
F ターム (更新データ)	2D061: 流し・廃水設備	
	3B260: 家具の組合わせ、厨房家具	
	CA03[水切部材]	
	DA11[各区画部の配置に特徴] DA13[レンジ又はシンクと関連する配置に特徴]	FA00[流し台]
キーワード	厨房装置	厨房、流し台
	シンク	シンク
	天面、天面作業領域、台面	ワークトップ、天板
	加熱調理器、加熱調理領域	調理部、ガス器具

図1 題材公報と引用文献の対比表

特許分類について比較してみると、題材公報と引用文献の両方に共通して付与されている特許分類はFタームに見られました。具体的には、「3B260DA13: レンジ又はシンクと関連する間口方向の配置に特徴を有する厨房家具」のFタームが両方の公報に共通付与されていました。そして、「3B260DA11」の下位であり、「3B260DA13」の上位のFタームである「3B260DA12: 間口方向の配置に特徴を有する厨房家具」も、題材公報の発明の特徴を表した特許分類になると思われます。

F Iについて確認すると、題材公報に付与されている「A47B77/02: 台所用キャビネットの一般的レイアウト」は、発明の特徴に関連する特許分類ですが、引用文献には付与されていません。引用文献の発明の特徴が、調理部とシンクとを連設させる構造であ

ることから、流し槽（シンク）の組み込みに関する「A 4 7 B 7 7 / 0 6」が付与されていました。また、調理部ではガス機器を使っていることから、ガス加熱調理器の組み込みに関する「A 4 7 B 7 7 / 0 8 A」が付与されていました。

今回の F I と F タームの付与の共通性と違いを確認すると、改めて、F I は発明の要旨に対してのみ付与されており、F タームは発明の要旨に止まらず、明細書の全文の記載内容に対して付与されていることを再認識します。検索式を立案する際には、F I と F タームの特性を踏まえて検討する必要がありますね。

キーワード表現について比較してみると、「流し台」というキーワードは、「システムキッチン」に相当するキーワードとして使われるケースと、「シンク」や「流し槽」に相当するキーワードとして使われるケースがあることが分かりました。「ワークトップ」「天面」「天板」「台面」といったキーワードも、作業部分の天板であったり、各機能部分での天板であったり、使われ方にばらつきがあることも確認できました。

効果的に引用文献をヒットさせるためには、共通性が高い分類を見つけ出し、検索式に採用することと、キーワード指定を行う時には、類義語表現についてケアすることが必要となります。皆様は、共通性が高い特許分類を特定し、適切な類義語展開を実施することができたでしょうか？

3. 検索報告書からの学び

今回の題材では登録調査機関に検索外注が行われ、登録調査機関より検索報告書が作成されていました。検索報告書の中では検索論理式やスクリーニングサーチの結果について報告されているので、登録調査機関の調査員が、どのような検索アプローチを実施しているのかを確認できます。

今回の調査は国内と外国の両方の調査が行われていましたが、国内特許については、N o. 1 ～ 3 0 の検索アプローチが行われていました。実際に行われた検索論理式とヒット件数を図 2 に示しました。

■検索論理式

年月範囲： 年 月 日～2018年11月19日

【No.】	【クレームNo.】	【テーマコード】	【検索論理式】	【件数】
1	1-4		本願関連文献	12
2	1-4	3B260	A47B77/08@A*([シンク+流し]*[段差+中段+段付])/TX	65
3	1-4	3B260	A47B77/08@A*(段差+中段+段付)/TX-¥(02)	31
4	1-4	3B260	A47B77/08@A*(シンク+流し)/TX-¥(02+03)	414
5	1-4	3B260	A47B77/08@A-¥(02+03+04)	493
6	1-4	3B260	A47B77/08@Z*([シンク+流し]*[段差+中段+段付])/TX-¥(02+03+04+05)	22
7	1-4	3B260	A47B77/08@Z*(段差+中段+段付)/TX-¥(02+03+04+05+06)	11
8	1-4	3B260	A47B77/08@Z-¥(02+03+04+05+06+07)	569
9	1-4	3B260	A47B77/08@C*GC01-¥(02+03+04+05+06+07+08)	392
10	1-4	3B260	A47B77/08@C-¥(02+03+04+05+06+07+08+09)	225
11	1-4	3B260	A47B77/08@B*(シンク+流し),30N,(段差+中段+段付)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10)	18
12	1-4	3B260	A47B77/08@B*(シンク+流し)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11)	226
13	1-4	3B260	A47B77/08@B-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12)	353
14	1-4	3B260	A47B77/06*FA04-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13)	221
15	1-4	3B260	A47B77/06*(シンク+流し),30N,(段差+中段+段付)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14)	66
16	1-4	3B260	A47B77/06*(段差+中段+段付)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15)	84
17	1-4	3B260	A47B77/06*(コンロ+こんろ+レンジ+ガステーブル+ストーブ+加熱調理+調理機器)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16)	297
18	1-4	3B260	A47B77/06-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17)	886
19	1-4	3B260	A47B77/06-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18)	383
20	1-4	3B260	A47B77/08@D-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19)	136
21	1-4	3B260	A47B77/08@E-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20)	110
22	1-4	3B260	A47B77/08-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21)	0
23	1-4	3B260	A47B77/02*DA01-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21+22)	588
24	1-4	3B260	A47B77/02*(コンロ+こんろ+レンジ+ガステーブル+ストーブ+加熱調理+調理機器),30N,(シンク+流し)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21+22+23)	204
25	1-4	3B260	A47B77/02-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21+22+23+24)	335
26	1-4	3B260	A47B77/00*(コンロ+こんろ+レンジ+ガステーブル+ストーブ+加熱調理+調理機器),30N,(シンク+流し)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21+22+23+24+25)	667
27	1-4	3B069	A47B96/18@H*(コンロ+こんろ+レンジ+ガステーブル+ストーブ+加熱調理+調理機器),30N,(シンク+流し)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21+22+23+24+25+26)	55
28	1-4	3B069	A47B96/18@H*(シンク+流し)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21+22+23+24+25+26+27)	347
29	1-4	2D061	E03C1/18*(コンロ+こんろ+レンジ+ガステーブル+ストーブ+加熱調理+調理機器),30N,(シンク+流し)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21+22+23+24+25+26+27+28)	37
30	1-4	4M104	E03C1/18*(コンロ+こんろ+レンジ+ガステーブル+ストーブ+加熱調理+調理機器)/TX-¥(02+03+04+05+06+07+08+09+10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21+22+23+24+25+26+27+28+29)	39

スクリーニング件数合計： 7286

図 2 検索報告書の検索論理式

まず驚いたのが、スクリーニング件数が「7, 286件」であるということです。平均的な先行技術調査の場合の件数より一桁多いと感じました。今回の場合は、図面だけのスクリーニングにより関連特許を抽出することは可能ですが、まるで、検索モレを避けたいクリアランス調査の検索母集合の件数であると思いました。

検索式の内容を紐解いてみると、最終的には「A47B77/08A：ガス加熱調理器」「A47B77/08C：食器洗浄乾燥機」「A47B77/08B：電気加熱調理器」「A47B77/06：シンクの組み込み」「A47B77/08D：冷蔵庫」「A47B77/08E：冷暖房装置」などの分類が付与されたものはすべて見えています。言い換えれば、システムキッチンに関する特許分類が付与されたものはすべてスクリーニングを行っているのです。

先行技術調査であることを考えると、食器洗浄乾燥機や、冷蔵庫、冷暖房装置に関する特許分類を指定した検索式は不要であると思います。

次に、スクリーニングが行われた結果を図3に示しました。国内特許調査により、7件の文献が抽出されました。引用文献として採用された提示文献No. 1は、図2の検索論理式No. 2の検索式から抽出されています。

■スクリーニングサーチの結果

【No.】	【提示文献の種別】	【対話型追加文献の種別】	【提示文献】	【代表カテゴリ】	【式No.】
1	特許文献		実願平04-085860号（実開平06-041551号）のCD-ROM	X	2
2	特許文献		特開平07-275058号公報	Y2	14
3	特許文献		特開平10-117867号公報	Y3	11
4	特許文献		特開平04-122309号公報	Y3	18
6	特許文献		特開平06-327523号公報	A	17
7	特許文献		国際公開第2017/110070号	A	12
8	特許文献		特開平06-022823号公報	A	4

図3 検索報告書のスクリーニングサーチの結果

また、提示文献No. 3とNo. 4は、題材公報の【請求項4】に対して周知技術を示す引用文献として採用されていました。

4. 請求項の必須構成要件に対応する特許分類を検索式に用いる

検索式を立案する際には、まず、検索に用いる概念を明確にし、その概念が含まれる特許分類を抽出し、抽出した特許分類に含まれない概念についてはキーワードで指定して検索式を組み立てます。各概念に見合うピースを当てはめていくようなイメージであり、まさに、パズルを組み立てるような作業となります。

関連する特許分類を抽出するためには、予備検索を実施し、検索に用いる概念を含む特許に付与されている特許分類の内容を精査して関連する特許分類を抽出していきます。

図4では、今回の事例において、題材公報と引用文献に付与されている特許分類から、検索に用いる概念となる必須構成要件に該当する特許分類の対応付けを行いました。

必須構成要件					ヒット状況	
シンク	調理部	ワークトップ	平面配置レイアウト	天面の高さ位置	題材公報	引用文献
			A47B77/02		○	×
			3B260DA12		○	×
			3B260DA13		○	○
A47B77/06	A47B77/08A A47B77/08B				×	○
					×	×
		A47B96/18D			○	×

図4 必須構成要件とそれに対応する特許分類

「天板の高さ位置」に関連する特許分類は見られませんでした。また、「シンク」「調理部」「ワークトップ」「平面配置レイアウト」に関連する特許分類は見られました。検索式を立案する際には、特定の概念を表す特許分類に対して、その特許分類に含まれないキーワードを掛け合わせて検索式を組み立てます。

5. 実行したい検索式の具体例

今回の題材で実施できたら良いと思われる検索式の例をご紹介します。今回は図4の検索概念マトリクスで整理した4つの検索式を紹介します。

F I = A 4 7 B 7 7 / 0 2 + F T = 3 B 2 6 0 D A 1 2 + 3 B 2 6 0 D A 1 3

× 名称+要約+請求項=シンク+流し+洗い

× 名称+要約+請求項=加熱+調理+コンロ+レンジ

× 名称+要約+請求項=ワークトップ+天板+天面+作業台+作業領域+作業面

× 全文=高さ+高い+低い+高く+低く

→ヒット件数：127件 題材公報：○ 引用文献：○

「平面配置レイアウト」の特許分類に、「シンク×調理部×ワークトップ×天面の高さ位置」の概念のキーワードを掛け合わせました。題材公報と引用文献の両方がヒットします。

FI=A47B77/06

×名称+要約+請求項=加熱+調理+コンロ+レンジ

×名称+要約+請求項=ワークトップ+天板+天面+作業台+作業領域+作業面

×全文=配置+順+連設+レイアウト

×全文=高さ+高い+低い+高く+低く

→ヒット件数：88件 題材公報：× 引用文献：○

「シンク」の特許分類に、「調理部×ワークトップ×平面配置レイアウト×天面の高さ位置」の概念のキーワードを掛け合わせました。題材公報はヒットしませんが引用文献はヒットします。

FI=A47B77/08A+A47B77/08B

×名称+要約+請求項=シンク+流し+洗い

×名称+要約+請求項=ワークトップ+天板+天面+作業台+作業領域+作業面

×全文=配置+順+連設+レイアウト

×全文=高さ+高い+低い+高く+低く

→ヒット件数：67件 題材公報：× 引用文献：○

「調理部」の特許分類に、「シンク×ワークトップ×平面配置レイアウト×天面の高さ位置」の概念のキーワードを掛け合わせました。題材公報はヒットしませんが引用文献はヒットします。

FI=A47B96/18D

×名称+要約+請求項=シンク+流し+洗い

×名称+要約+請求項=加熱+調理+コンロ+レンジ

×全文=配置+順+連設+レイアウト

×全文=高さ+高い+低い+高く+低く

→ヒット件数：16件 題材公報：○ 引用文献：×

「ワークトップ」の特許分類に、「シンク×調理部×平面配置レイアウト×天面の高さ位置」の概念のキーワードを掛け合わせました。題材公報はヒットしますが、引用文献はヒットしません。

6. 今回の事例から学んだポイント

今回の演習課題への取り組みにより得られた知見をまとめます。

- (1) 必須構成要件のそれぞれに対応する特許分類を抽出する。
- (2) 特許分類に掛け合わせるキーワードは検索概念マトリックスで整理する。

検索概念の組み合わせを頭の中でスラスラと整理できるようになるためには、検索概念マトリックスを実際に作成する訓練を積み重ねると良いと思います。

－以上－